



LET'S PLAY Indiacca

www.japan-indiacca.com

34 2011.10

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-7

水道橋西口会館内

TEL.03-3512-2801

FAX.03-3512-2802

E-mail: JIA@japan-indiacca.com

Japan Indiacca Association ● (社)日本インディアカ協会

一般社団法人日本インディアカ協会への移行

公益法人の制度が抜本的に改正され、現在の社団法人は、公益社団法人と一般社団法人の二種に別れ、どちらかへの移行が余儀なくされる。

これを受け、日本協会としては、検討を加えた結果「一般社団法人」を選択し、2010年6月に移行申請を内閣府に提出し、2010年10月22日許可があり、2010年11月1日に登記が完了し、正式に「一般社団法人日本インディアカ協会」が誕生した。

前の社団法人と現在の一般社団法人の差異はほとんどありません。強いて言うならば、17年前、(財)日本レクリエーション協会、並びに各都道府県インディアカ協会、そして全国のインディアカ愛好者からの勧募により830万円が集まり、日本協会がこれまでに蓄えた準備金を加えて基本金とし「社団法人日本インディアカ協会」を設立した。

今回この基本金は「公益目的事業推進」のために支出し、今まで出来なかったインディアカの普及振興事業を展開することになった。改めて勧募にご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。

社団法人日本インディアカ協会創立 30 周年事業

インディアカの普及発展を目指して設立された日本インディアカ協会が2010年に創立30周年を迎え、次の事業を展開いたしました。

- ・記念式典及び祝賀パーティー 2010年11月28日(日)東京「芝パークホテル ローズルーム」
- ・優良団体(都道府県協会並びに市町村協会)の表彰
- ・個人功労賞
- ・特別功労賞
- ・記念ロゴの作成
- ・記念グッズの作成
- ・30周年記念誌の編纂
- ・記念大会の実施



「第7回全日本インドiakartーナメント」開催

東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。



去る3月11日突然未曾有の大震災に見舞われ、当初本大会も会場の都合等により開催が危ぶまれました。

しかし、6月11日(土)「勇気と希望を 東北地方のインドiakar仲間」を合言葉に、無事開催することができました。特に今回の災害で大きな被害を受けました宮城県、福島県、岩手県の選手の方たちも、困難な中参加され、その勇気に会場からは大きな激励の拍手が起こりました。

日本インドiakar協会として、被災地の早い復興を願ってこれからも支援を続けていきますので、皆さまの温かいご理解ご協力をお願いいたします。

今回も各ブロックで勝ち抜いてきた80チームで前半予選リーグを行いました。代表チームの素晴らしい技術とチームワークによるハイレベルの試合展開に、会場からも大きな拍手が送られ、インドiakarの楽しさを十分満喫することができ

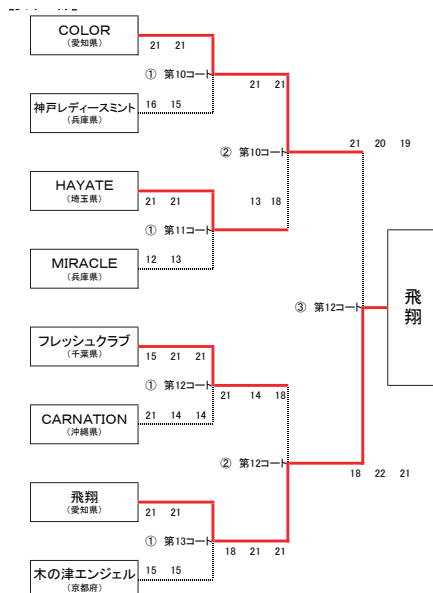
ました。この模様は広報委員会によるインターネットライブにより、全国のインドiakar愛好者に中継され、多くの方からアクセスをいただきました。

また、この熱戦の模様を6月26日NHK教育テレビ「インドiakar教室」放映のためにカメラ取材がありました。皆さまはご覧になりましたか？

決勝トーナメントは次のとおりです。

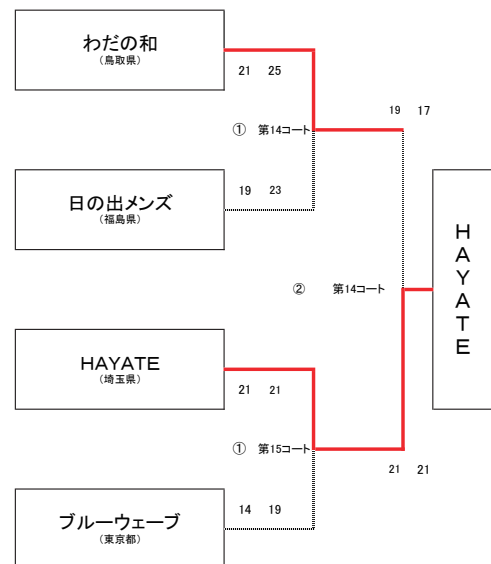
	女子の部	男子の部	男女混合の部	シニア男女混合の部	シニア女子の部
優勝	飛翔 (愛知県)	HAYATE (埼玉県)	ピンクパンサー (埼玉県)	とんぼ (埼玉県)	ARPC (愛知県)
準優勝	COLOR (愛知県)	わたの和 (鳥取県)	プラスワン (埼玉県)	前橋倶楽部 (群馬県)	アルファ (千葉県)
3位	HAYATE (埼玉県) フレッシュクラブ (千葉県)	日の出メンズ (福島県) ブルーウェーブ (東京都)	わいわいクラブ (愛知県) ヤンチャクラブA (愛知県)	WINGS GOLD (栃木県)	ならやまクラブ (京都府)

＜女子の部＞



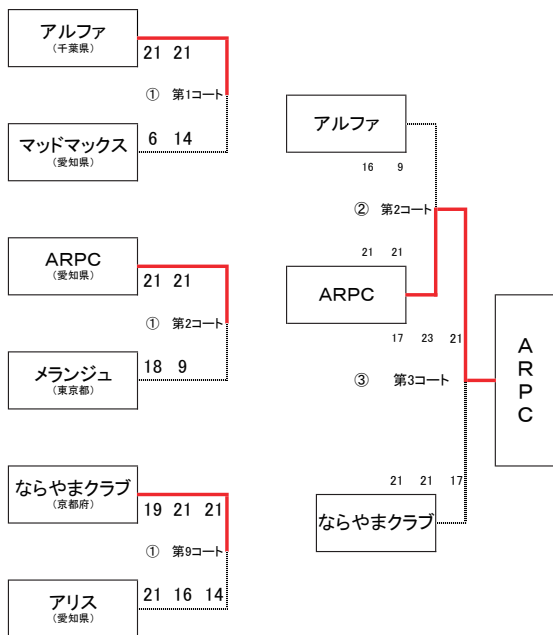
飛翔

＜男子の部＞



HAYATE

＜シニア女子の部＞

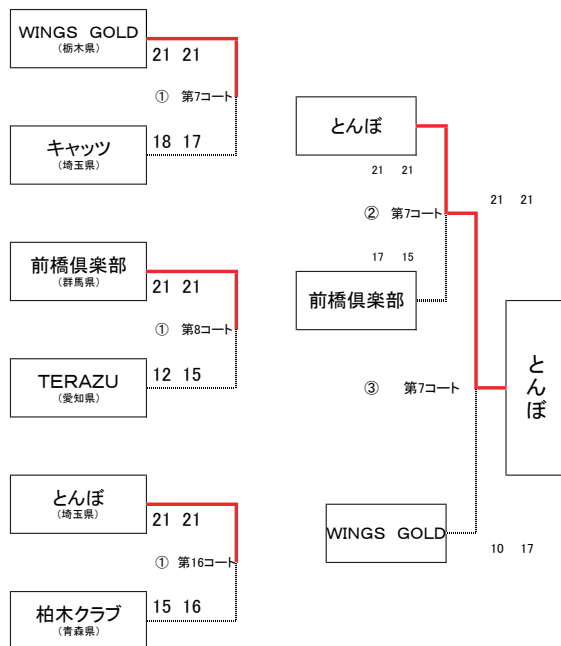


* 第1試合(準々決勝)終了後の組み合わせは、抽選を行いました。



ARPC

＜シニア男女混合の部＞

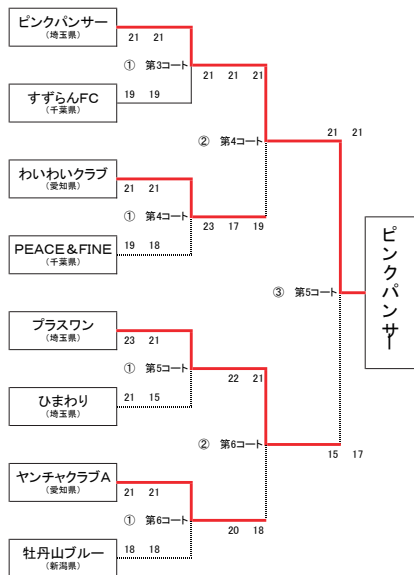


* 第1試合(準々決勝)終了後の組み合わせは、抽選を行いました。



とんぼ

＜男女混合の部＞



ピンクパンサー

インディアカ川柳

* げんきよく ぶっころねがい 羽根をつつ
* しんさいご はねでほんに ゆうきぽう
* インディアカ 想うころは 流されず
* 被災者の 交流宣言 風薫る
* あがいはね ゆうきときぽう のせてまつ
* ぶっころに とけいのりと このパワー
* げんいんは じゅうりょくよりも たいじゅうか
* おとさずに つないでいこう ゆめきぽう
* シニアふえ いろとりどりの わらじにわ
* ぶっころの かはしとなれ インディアカ

インディアカ川柳はフレンドシップ リーグマッチの恒例となり、今回で三回目になりました。毎回楽しみにしているという声も聞かれます。今回は東日本大震災に対する応援メッセージが多く寄せられました。このメッセージが被災地の仲間へ届き、勇気と希望をもって一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

多数のご応募ありがとうございました。

シテア女子	「メランジユ」
男子	「仲三」
男女混合	「ヨロ倶楽部」
女子	「らずべりー」
女子	「スマイルズ」
スーパージニア	「愛好会」
男女混合	「シャトルランナーズ」
シテア女子	「ライム」
シテア女子	「関東北友の会」
男女混合	「ハッピーターン」



「'11 Japan Friendship Indiacca League Match」開催！

「第17回ジャパン フレンドシップ インディアカ リーグ マッチ」は6月12日(日)東京体育館で開催され、今年も8グループのカラーに分け、128チームの参加でおこなわれました。

今年は特に東日本大震災の被災地の方々に応援するために「Courage and Hope for Indiacca Friends」のロゴマークを胸に付けた鮮やかな8色のTシャツを着用して試合が展開されました。

本大会には被害の大きかった岩手県、福島県からも選手の方たちが参加され、交流宣言では「ハッピーターン」(福島県)の方が大震災復興に向けての勇気と希望をもった力強い宣言に会場からは感動で胸がいっぱいになり、涙ぐむ方も見られました。

これからもインディアカ仲間として温かい支援を続けていきましょう！！

【優勝】 レッド

【準優勝】 ロイヤルブルー

【3 位】 ピンク

【4 位】 ターコイズ と グリーン

【6 位】 オレンジ

【7 位】 ディジー

【8 位】 ライトパープル

8色のTシャツの色の呼称が分かりにくい、というご意見も頂戴しております。カタカナでなく表現すると今回の大会での色は次のような色でした。

レッド：赤

ロイヤルブルー：強い紫がかった青

ピンク：薄桃色

ターコイズ：トルコ石の色、緑がかった青

グリーン：緑

オレンジ：だいたい(橙)色

ディジー：キクの花の色、黄色

ライトパープル：薄い紫

【レッドグループ】

・女子の部：フリーダム(栃木県)

バイオレット(神奈川県)

ピンクパイレーツ(静岡県)

・男子の部：松浪インディアカクラブ(神奈川県)

・男女混合の部：ファーストボビーズジュニア(千葉県)

シャトルランナーズ(埼玉県)

チェリーズ(千葉県)

ねやがわファイブ(大阪府)

・シニア女子の部：フェニックス(栃木県)

ブルーエンジェル(埼玉県)

NS-EC(東京都)

ガッツ2001(埼玉県)

・シニア男女混合の部：スターズB(茨城県)

習志野台コスモス・S(千葉県)

小菅レッドウィングス(東京都)

・スーパーシニア男女混合の部：がんばれ日本 岐阜県チーム(岐阜県)



＜アンケート結果＞

東日本大震災という未曾有の大きな災害に見舞われた後で、困難な状況の中、年一回恒例のインディアカ大会が予定どおり開催できたことは、大きな喜びでした。いただいたアンケートの中にもそのような声が多く、聞かれました。

集計した結果は次のとおりです。みなさまからいただいたご意見、要望等は検討させていただき、今後の運営に反映させていきたいと思っています。

試合に集中したためか、回収が少なかったようです。

配布：トーナメント、フレンドシップ両大会の参加チームに一部ずつプログラムに挟んで配布。

回収枚数：29通

*参加してよかった 25

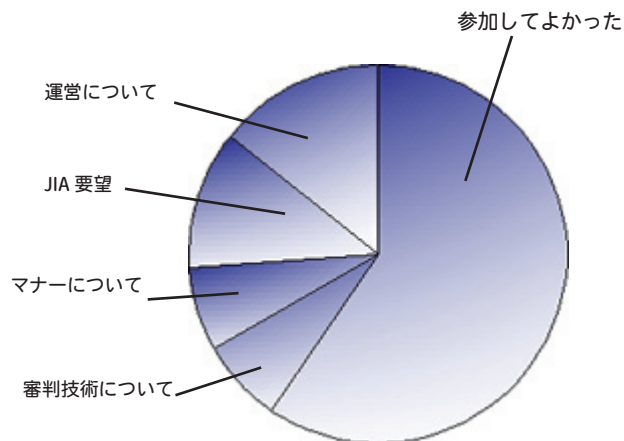
*審判技術について 3

*マナーについて 3 (飲み場所、貴金属着用、子供等)

*JIA 要望 5 (弁当、グッズ)

*運営について 6

※なお一通の中に複数回答がありました。



2011年度事業計画

マグニチュード9.0という計り知れない破壊力を持った地震と津波が東北・関東に襲来し、数多くの町が破壊され数え切れない多数の尊い生命が奪われてしまいました。併せて原子力発電所が破壊され、日本国民に大きな試練と不安を与えられてしまいました。

(社)日本インディアカ協会としては、犠牲者のご冥福を祈ると共に、一日も早い被害地の復興を祈念すると共に、できる限りの支援をしていきたいと考えます。

2010年11月1日、新しく「一般社団法人日本インディアカ協会」が設立され、すでに新しい活動が展開されています。最初の大きな事業として「創立30周年記念事業」では、優良団体、個人功労者の表彰を行うと共に、記念誌の刊行、全国の関係者に参集をいただき開催された記念式典並びに記念パーティーなどこれまでの30年の歩みを振り返ると共に、新しく誕生した日本協会の今後の期待が込められた事業となりました。

さて、今年度は一般社団法人としてのメリットを生かした各種事業を展開し、今までなし得なかった財政基盤充実の取り組みを考え、インディアカスポーツの積極的な広報活動、宣伝活動、全国大会の一層の充実を図りたいと考えます。

また、新しく制定された「公認インディアカ指導者制度」そしてすでに制定されている「公認インディアカ審判員制度」の周知徹底を図り、個人会員、公認審判員そして公認指導者の拡大を推進したい。

【組織の整備・強化】

＜各ブロック協議会との連携、協力＞

・各ブロックで開催される会議については、本協会理事であるブロック代表理事が中心となって、情報交換を密にし相互の連携を図らなければならない。地域協会の育成・援助の方策を検討し活発化を図る。

＜個人会員・公認審判員・公認指導者の拡大＞

・現在、全国レベル及びブロックの大会は、スボレク祭を除いてすべて日本協会の個人会員（公認審判員・公認指導者を含む）でなければ参加できないシステムになっている。

さらには、「個人会員」・「公認審判員」・「公認指導者」の資格についても、日本協会の個人会員でなければ取得できないシステムとなっている。

都道府県レベルの大会もこれに準じるよう働きかける。

・都道府県レベルの大会は、帯同審判制を採用し、資格の活用と拡大を図る。

・ブロック、全国レベルの交流大会も、主審以外は帯同審判員によって競技運営をする方向を目指す。

会員数や、公認審判員数の関係で大会等が開催できない府県にあっては、参加費に差をつけて、会員でない選手も参加を受け付け、入会の機会をつくる。

・各都道府県協会が年間50名の「公認C級審判員」の養成を目標に掲げ、その達成に努力する。

・今まで実施できなかった個人会員、公認審判員、公認指導者資格取得の意欲を喚起するパンフレットを作成し、一般市民に広く配布する。

【都道府県インディアカ協会事務局長会議】

・全国6ブロックにおいて、開催。

【公益目的支出事業】

【競技会の開催】

【各種全国大会】

●『第17回(2011)ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ』

・2011年6月12日(日) 東京体育館 128チーム(700名)
(社)日本インディアカ協会の個人会員、公認審判員を対象にして毎年1回開催され、日頃の練習の成果の発表の場として、会員相互の親睦・交流の場として重要な大会である。

●『第7回全日本インディアカトーナメント』

・2011年6月11日(土) 東京体育館 80チーム(480名)
この大会は、2005年度から新しく開催されたもので、今回が第7回大会となる。

市町村大会⇒都道府県大会⇒ブロック大会⇒全日本大会へと組織的に連動した大会である。本大会は、2年に一度開催される世界大会の予選を兼ねているもので、大きな高まりを見せている。

我が国のインディアカ競技の最高レベルの大会として、「ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ」と両極に位置する大会である。

●『第1回オールジャパンレディース』

・2011年10月16日(日) 千葉県船橋市「船橋アリーナ」
72チーム(400名)

(公益目的支出事業)

●『第33回全国インディアカ大会』

・2011年9月24日(土) 滋賀県草津市「草津総合体育館」
「第65回全国レクリエーション大会」の中で開催される。

●『第24回全国スポーツ・レクリエーション祭』

・2011年11月6日(日)～11月7日(月)

栃木県鹿沼市「鹿沼総合体育館 鹿沼フォレストアリーナ」
【ブロック大会】

●『第26回 北海道・東北ブロックインディアカ大会』

・2011年9月11日(日) 福島県福島市「国体記念体育館」

●『関東甲信越ブロックインディアカ大会』

・2011年10月2日(日) 新潟県長岡市「長岡市民体育館」

●『東海・北陸ブロックインディアカ大会』

・2011年10月16日(日) 静岡県焼津市「焼津市総合体育館」

●『関西ブロックインディアカ大会』

・2011年10月16日(日) 和歌山県和歌山市「健康館」

●『中・四国ブロックインディアカ大会』

・2011年5月15日(日) 島根県松江市「島根県立浜山体育館」

●『九州・沖縄ブロックインディアカ大会』

・2011年5月15日(日) 佐賀県神埼郡吉野ガ里町「三田川小学校体育館」ほか

【公認審判員の養成】

＜新規会員登録＞ 850名

【公認C級審判員の養成と認定】

＜公認C級審判員認定講習会の開催＞ 30回 450名 全国各地

＜公認C級審判員認定・登録＞ 450名

【公認B級審判員の養成と認定】

＜公認B級審判員認定講習会＞ 2回 50名 全国各地

＜公認B級審判員認定・登録＞ 50名

【公認A級審判員の養成と認定】

＜公認A級審判員認定講習会＞ 1回 20名

＜公認A級審判員認定・登録＞ 20名

【公認指導者の養成】

【公認インディアカ指導者の養成と認定】

＜公認インディアカ指導者移行講習会＞ 東日本地区 20名

西日本地区 20名

＜公認インディアカ指導者認定講習会＞ 東日本地区 20名

西日本地区 20名

【登録更新】

＜個人会員＞ 600名

＜公認C級審判員＞ 2,200名

＜公認B級審判員＞ 160名

＜公認A級審判員＞ 15名

【公認A級審判員研修会・公認B級審判員研修会】

公認A級並びにB級審判員が3年に1回、最寄りの開催地に集合し、指導法・審判法・競技運営法・安全管理等の実践研究を行う。

またルール共通理解や大会運営について学習する機会として開催している。

＜公認B級審判員研修会＞

●『関東甲信越地区会場』 2011年2月(未定)

●『北海道東北地区会場』 2011年10月22日～23日

●『関西・中四国地区会場』 2011年2月(未定)

＜公認A級審判員研修会＞ 未定

【国際交流事業】

＜International Indica Association＞

・国際大会

＜3rd Indica Junior World Cup 2011＞

国際インディアカ協会による主催事業で、「第3回 インディアカジュニアワールドカップ2011」がPoland/Rozogi市で開催される。実施部門は、男子Youth 14歳以下/女子Youth 14歳以下/男女混合Youth 14歳以下/男子Junior 18歳以下/女子Junior 18歳以下/男女混合18歳以下となっている。

＜期 日＞ 2011年8月3日～6日

＜会 場＞ Poland/Rozogi市

【出版物・機関紙等の発行】

・機関紙「Let's Play Indica」の発行 13,000部(年1回発行)

・「インディアカ」教本の増刷・2011年度版「インディアカ競技規則」の刊行

・「インディアカのすすめ(仮称)」小冊子の刊行(公益目的支出事業)

・VTR「インディアカのすすめ(審判編)」制作(公益目的支出事業)

【広報活動】

・NHK教育テレビ「スポーツ教室」でインディアカを取り上げ、その収録と放映が決定

＜収録＞ 2011年5月13日、14日、6月11日

＜放映＞ 2011年6月26日(日) 14:30～15:00

2011年6月30日(木) 14:30～15:00(再放送)

2010年度事業報告

新しい公益法人制度を導入することが決定し、2010年6月に移行申請を内閣府に提出、2010年10月22日付けで「一般社団法人日本インドアカ協会」の認可があり、同年11月1日に設立登記をして新公益法人制度への移行が完了しました。

「社団法人日本インドアカ協会」は、(財)日本レクリエーション協会並びに各都道府県インドアカ協会そして全国の愛好者からの勧募により、830万円が集まり、それまでの準備金を加えて設立することができました。今回この基本金は、「公益目的事業推進」のために支出し、今までできなかったインドアカの普及振興事業を展開することになりました。改めて、勧募にかかわった皆さまに心から感謝申し上げます。

また、新公益法人としては、5ヶ月という短い年度の活動ではありませんが、「創立30周年記念事業」という大きな事業に取り組み、多くの方々の協力の下、実施できましたことそして多くの成果をあげることができ、心から感謝申し上げます。

しかし、年度終了間近に今まで体験したことのない悲劇が東北・関東を襲い、多くの犠牲者がでてしまったことは、悲しみの極みであり、福島原発事故による放射能漏れは、未だスポーツ活動にも支障を来しております。何とかこの苦境をみんなの努力で乗り越え、一日も早く絶望よりも希望の比率が高まるよう祈るのみです。

我々は、われわれのできることを、しっかり行っていきたいと考えます。

(2010年4月1日～10月31日)

【競技会の開催】

[全国大会]

- 「第23回全国スポーツ・レクリエーション祭」
 - 2010年10月17日(日)～10月18日(月)
 - 富山県南砺市「南砺市福野体育館」
 - 46チーム
- 「第6回全日本インドアカトーナメント」
 - 2010年6月12日(土)
 - 東京都渋谷区千駄ヶ谷「東京体育館」
 - 80チーム
- 「10ジャパンフレンドシップインドアカリーグマッチ」
 - 2010年6月13日(日)
 - 東京都渋谷区千駄ヶ谷「東京体育館」
 - 127チーム

[ブロック大会]

- 「北海道・東北ブロックインドアカ大会」
 - 2010年6月27日(日)秋田大会
 - 秋田県大館市「樹海体育館」
 - 2010年10月31日(日)宮城大会(全日本トーナメント予選会)
 - 宮城県黒川郡「大和町総合体育館」
- 「東海・北陸ブロックインドアカ大会」
 - 2010年10月10日(日)
 - 愛知県小牧市スポーツ公園総合体育館「パークアリーナ小牧」
- 「九州ブロックインドアカ大会」
 - 2010年4月18日(日)
 - 熊本県八代市「八代市総合体育館」
- 「関西ブロックインドアカ大会」
 - 2010年10月31日(日)
 - 奈良県斑鳩町「斑鳩町中央体育館」
- 「中・四国ブロックインドアカ大会」
 - 2010年6月20日(日)
 - 高知県南国市「南国市立スポーツセンター」

【個人会員と公認審判員、公認指導者の養成】

<個人会員の入会・登録>

- 「新規会員の入会」 519名入会登録

<公認C級審判員の養成と認定>

- 「公認C級審判員養成講習会」 全国各地 21回 開催
- 「公認C級審判員の認定・登録者」 323名 登録

<公認B級・A級審判員の養成と認定>

[登録・更新]

- 「個人会員」 2,021名 更新
- 「公認C級審判員」 1,393名 更新
- 「公認B級審判員」 57名 更新
- 「公認A級審判員」 69名 更新

【国際交流事業】

<International Indica Association>

- ・定例理事会および総会の開催 2010.8.17.～18.
エストニア/タルトゥ
 - ・第3回インドアカワールドカップ2010.8.17.～21.
参加国：7カ国(スイス、エストニア、ドイツ、ルクセンブルク、ポーランド、日本、ベルギー)
- 会場：エストニア/国立タルトゥ大学 スポーツホール

今回の大会は、スイスでの開催が予定されていたが、経済上組織上に問題が生じ、急遽エストニアでの開催となった。全種目(一般/男子、女子、混合 シニア/女子、男子、混合)にエントリーした。

また、広島県インドアカ協会が韓国の京畿大学との交流をすすめる、交流大会、審判員講習などを開催し、市民レベルの交流が進んでいる。

(2010年11月1日～2011年3月31日)

<創立30周年記念事業>

- ・記念式典及び祝賀パーティー 2010年11月28日(日)
東京「芝パークホテル ローブルーム」
- ・優良団体、個人功労者等の表彰
個人功労賞 34名
優良団体(都道府県協会)10団体
優良団体(市町村協会)16団体
特別功労賞 17名
- ・創立30周年記念ロゴの制作
記念ロゴを制作し、ポロシャツ、Tシャツをはじめ、大会ロゴとしてプログラム等に活用
- ・記念グッズの制作
記念グッズを数種類作成し、30周年をアピールした。クリアファイル/トートバッグ/ロゴシール/ポロシャツ/Tシャツ
- ・創立30周年記念誌の編纂
A4版、150頁の記念誌を編纂し、各方面に配布し協会の活動をPRすると共に公認審判員、指導者の参考書としての役割も果たした。

【競技会の開催】

[各種全国大会]

- 『第33回全国インドアカ大会』
 - 2010年11月7日(日)
 - 静岡県焼津市「焼津総合体育館」(シーガルドーム) 82チーム
 - 「第64回全国レクリエーション大会」の中で開催された。
- [ブロック大会]
- 『関東甲信越ブロックインドアカ大会』
 - 2010年11月14日(日)
 - 茨城県竜ヶ崎市「たつのこアリーナ」 60チーム

【公認審判員の養成】

- <新規会員登録> 135名
- [公認C級審判員の養成と認定]
 - <公認C級審判員認定講習会の開催> 全国各地 15回 149名
 - <公認C級審判員認定・登録> 147名
- [公認B級審判員の養成と認定]
 - <公認B級審判員認定講習会> 1回 35名(千葉県松戸市)
 - <公認B級審判員認定・登録> 33名
- [登録更新]
 - <個人会員> 258名
 - <公認C級審判員> 1,029名
 - <公認B級審判員> 67名
 - <公認A級審判員> 7名
 - <公認指導者> 24名

[公認B級審判員研修会・認定員研修会]

<公認B級審判員研修会及び認定員研修会>

- 『関東甲信越地区会場』 2011年 2月12日～13日
(茨城県) 土浦市国民宿舎「水郷」
認定員 13名/B級審判員 32名
- 『東海・北陸地区研修会』 2011年 3月5日～6日
(愛知県) 一宮勤労福祉会館「アイブラザ」
認定員 15名/B級審判員 41名

「日韓親善インディアカ交流」

広島県インディアカ協会 理事長 橋本邦男

インディアカの日韓親善交流は、6月25日(土)の韓国での大会で、4回目を数えて参加チームも日本3チーム、12名、韓国9チーム、37名と飛躍的に増加しました。

3年前に広島県内で、第1回を開催した時は、韓国は2チーム、9名から比較すると非常に喜ばしいことです。

韓国は、会長の陳先生が、大学のスポーツ学科の教授をされている関係で、学生、学校関係者で構成されており、年々、会員の拡大と技術が向上しています。

現在は、私が広島県インディアカ協会としてボランティアで大会開催を行っています。国際交流は一地域でのボランティア活動では限度があると思いますので、今後はJIAも含めた幅広い協力を得た、国際交流を望みます。



NHK“テレビスポーツ教室”でインディアカを放映

去る6月26日(日)14時30分～15時00分までNHK第3チャンネルで“インディアカ(基本編)”が30分間放映された。

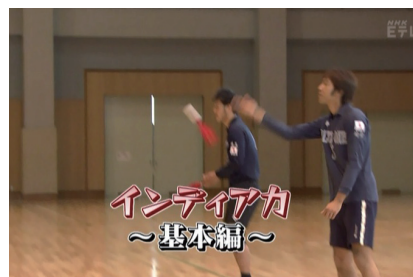
インディアカがマスコミ取材を受けたことは数々あるが、基本技術から楽しみ方を、解説を交えながらしかも30分にわたって放映されたのは初めてのことである。

内容は、“スポーツ教室”という枠組みの中での展開であったため、やや堅苦しさがあったことは否めない。しかし、基本技術を丁寧に映像化したことは、画期的なことである。そして基本技術をマスターして練習を続けることによって、全国レベルの大きな大会を目指すことを示唆していた。

本協会指導技術委員・坂口進氏の指導により、埼玉県所属の“プラスワン”に出演協力をいただき、2日間にわたる収録の作品となっている。

各インディアカクラブの活動、インディアカ指導者の指導要領資料として役立てることができると思う。

なおNHKは今回の“基本編”に対して、来年“応用編”を作成し、放映の予定であることを聞いている。



東日本大震災の義援金募集の中間報告

(社)日本インディアカ協会では、東日本大震災被災者支援の義援金を募集しております。お預かりした義援金のうち、第一次として総額45万円を、去る8月25日に被災されました東北3県(岩手県、宮城県、福島県)のインディアカ協会関係者に、各インディアカ協会を經由して送らせていただきました。

引き続き第二次、第三次と支援を行って参りたいと考えておりますので、皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

＜これまでに義援金をお寄せいただいた方々＞
(2011.6.30までの受付分：順不同・敬称略)

- ・東京都多摩市インディアカ協会
- ・宮城県栗原市インディアカ協会
- ・早坂美奈子
- ・MINORI スマイル
- ・新潟県インディアカ協会
- ・第5回神戸市インディアカ大会
- ・杵内芳徳
- ・武石記代子
- ・第14回中・四国ブロック大会
- ・小林三郎
- ・フレンドシップ大会義援金箱
- ・広島県インディアカ協会
- ・全日本トーナメント義援金箱
- ・東京都インディアカ協会
- ・埼玉県インディアカ協会
- ・千葉県インディアカ協会
- ・長崎県インディアカ協会
- ・千葉県八千代市インディアカ協会

【義援金受付専用口座】

- ・名 義：一般社団法人日本インディアカ協会
- ・口座番号：ゆうちょ銀行 00170 - 2 - 274986



インディアカのルール Q&A

今回のQ & Aは、審判に関する質問にお答えしました。

<Q-1> 「先日、地元の大会で主審をしました。終了後にB級審判員から吹笛が遅いと言われましたが、自分ではそれ程遅いとは思っていませんでした。ただ、反則の吹笛がすぐに吹けないことがあります。どうしたら早く吹けるようになりますか？」

[A] 主審・副審にとって吹笛をすばやく吹くことは、大変重要なことです。その目的は、競技を直ちに止めること及び主審と副審が見ている場面が違う状態が多く、起きた出来事のどちらが先かを判断する基準になるからです。貴方の大会での審判を見ていないので適切なアドバイスをできませんが、吹笛をすばやく吹く為にどうすれば良いかを2つ程お答えします。

①見ている姿勢そのままの状態で吹笛をすること。吹く時にうなずいたり姿勢を正面に向きなおして吹いたり、又はハンドシグナルと一緒に吹いたりするとかなり遅くなります。

②反則を予測すること。競技の中で反則を予測しているとその反則があった場合にすばやく吹くことができます。たとえば、体制が悪い状態でレシーブをしようとした場合は、ホールディングやドリブルを予測し、ネットに近いトスが上がった時は、タッチネットやオーバーネット等を予測していると、その反則があった場合に上記①をするとすぐ吹けます。

<Q-2> 「副審をしていて、ベンチからのタイムアウトを許可したのですが、主審のサービスの許可とダブってしまいました。タイムアウトの許可するタイミングを教えてください。」

< A > 副審がタイムアウトやメンバーチェンジを許可しない方が良いタイミングは、主審がサービスの許可をする姿勢に入った時です。ところが、主審をする審判員の多くは、その姿勢がハッキリしません。それは、主審の判定からサービスの許可までの手順ができていないからです。主審は、判定→守備側の確認→サービス側の確認→サービス許可という手順で行います。守備側の確認中に要求があった場合は許可し、主審の顔がサービス側に移ったら、許可しない方が良いと思います。

8th All Japan Indiacca Tournament & '12 Japan Friendship Indiacca League Match

来年のトーナメント大会、フレンドシップ大会の日程が決まりました。

8th All Japan Indiacca Tournament

2012年6月23日(土) 東京体育館

2012 Japan Friendship Indiacca League Match

2012年6月24日(日) 東京体育館